

Strut Tower Bar

ストラットタワーバー No. KHA1 V5 420

取付・取扱説明書



株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川 2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ストラットタワーバーをお買い上げいただき、ありがとうございます。本書は、本製品を車両に取付ける前に行う作業、取付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には、本書にしたがって作業を進めていただきますようお願いいたします。また、作業終了時には、本書をお客様にお渡し頂き、車検証などと共に大切に保管されますようお願いいたします。

ご注意 ※当製品の装着に際し、以下の注意事項を厳守してください。

1. 本書に記載する説明にしたがって作業を行ってください。本書に記載する以外で当製品の取付上やむを得ない場合を除く製品の加工、改造、分解および、車両の改造は絶対に行わないでください。
2. 当製品の取付けに関しては、設備が整った専門の工場で資格を持った整備士の方が行ってください。
3. 事故防止のため、ジャッキアップする際はリフトやリジットラックなどを用い、自動車メーカー指定の位置で確実に車両を固定してください。
4. 純正部品の取外し、取付け作業は、マツダ(株)発行の整備書を参考に作業を行ってください。
5. 下記に記す適合車種以外には、絶対に取付けしないでください。
6. 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故については、一切の責任を負いません。

適合車種

CX-60 (KH系)

構成部品

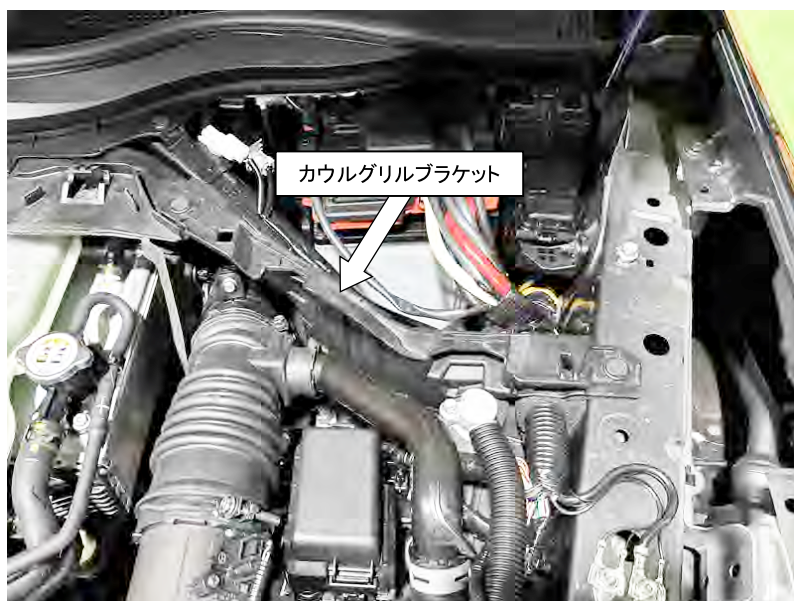
No.	部品名称	仕様	数量
①	ストラットバー	スチール製レッド塗装	1
②	ストラットバーブラケット RH	スチール製レッド塗装	1
③	ストラットバーブラケット LH	スチール製レッド塗装	1
④	サスタワーブラケット RH	スチール製レッド塗装	1
⑤	サスタワーブラケット LH	スチール製レッド塗装	1
⑥	キャップボルト	M10×65 P1.5	2
⑦	スプリングワッシャ	M10	2
⑧	平ワッシャ	M10	4
⑨	袋ナット	M10 P1.5	2
⑩	プレートナット	スチール製	2
⑪	フランジボルト	M8×20 P1.25	6
⑫	取付・取扱説明書	本書	1

装着作業

1. エンジンカバーを取外し、図示のフェンダーエッジラバー左右、およびカウルグリルカバー（※助手席側のみ）を取外します。



2. 整備書を参照し、バッテリー(－)端子を切離します。
3. 図示のカウルグリルブラケット(※助手席側のみ)



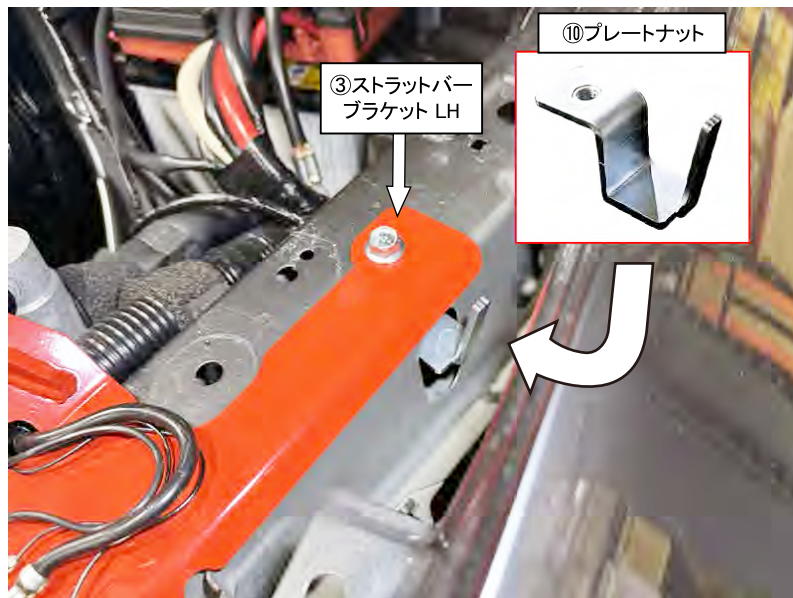
4. ○印部のアースポイントを2箇所とも取外します。



5. ③ストラットバーブラケット LH の穴からアース線を通し、純正ボルトで仮組みします

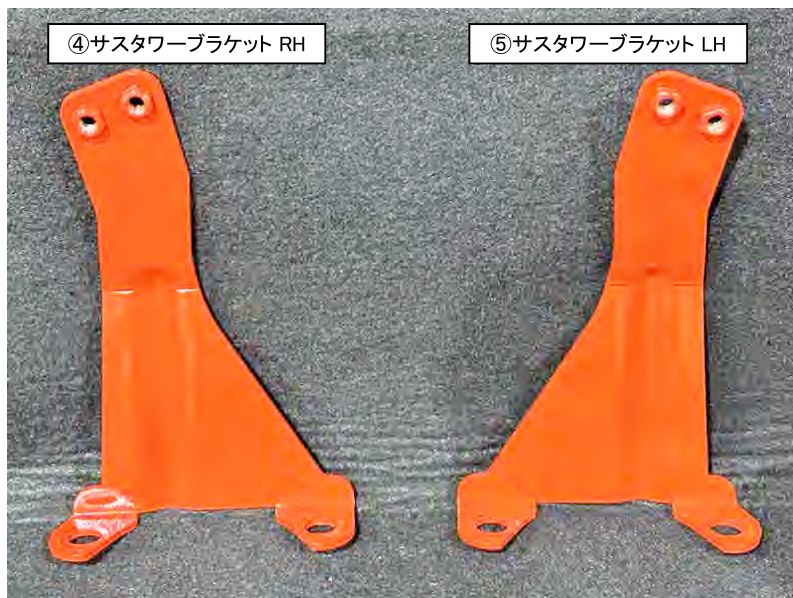


6. フロントフレームの穴に⑩プレートナットを挿入し、⑪フランジボルトで仮組みします。

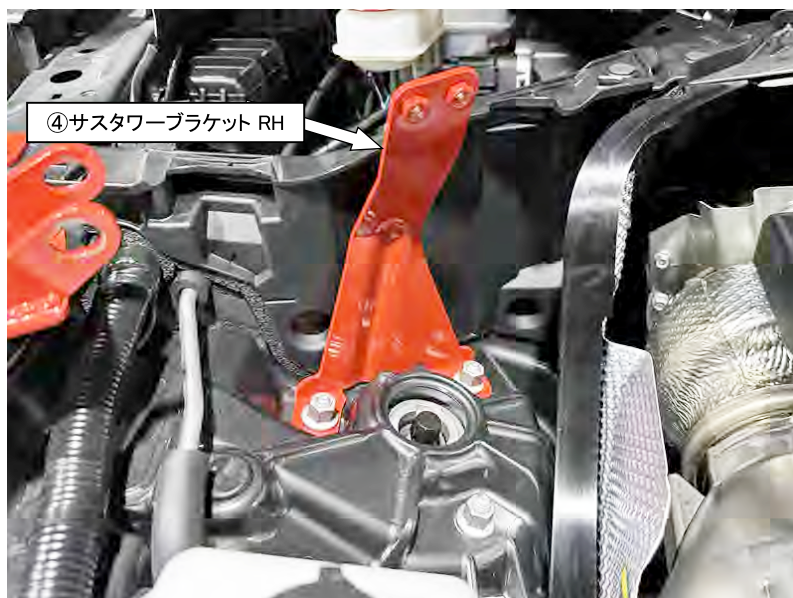


7. 4.～6.と同様の手順で②ストラットバーブラケット RH を車両に仮組みします。

8. ④⑤サスタワーブラケットを車両に取付けます。



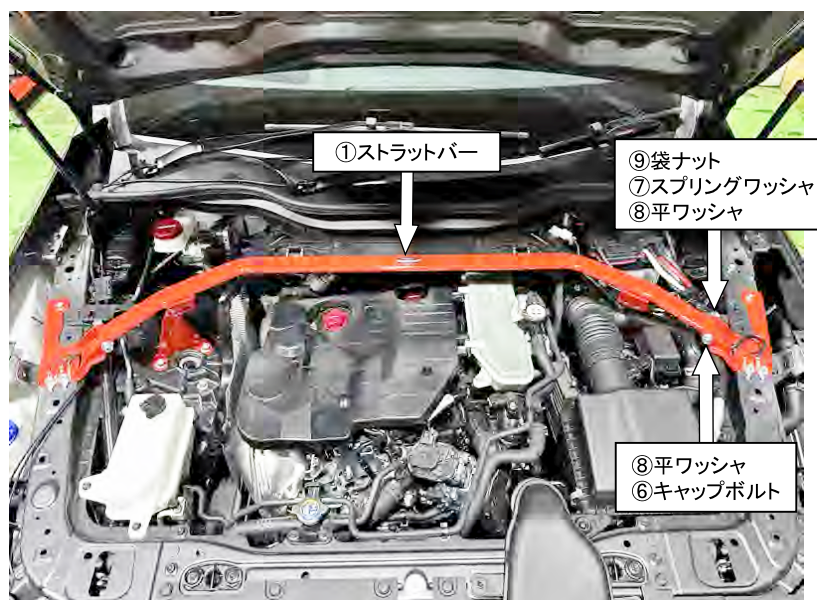
9. アッパーマウントの2箇所のナットを取外し、純正ナットを使用して④サスタワーブラケットを車両に仮組みします。



10. 4と同様の方法で⑤サスタワーブラケット LH を車両に仮組みします。



11. ⑥キャップボルト、⑦スプリングワッシャ、⑧平ワッシャ、⑨袋ナットを使用して、①ストラットバーを車両に仮組みします。



12. ①ストラットバーを車両に配置する際は、④⑤サスタワーブラケットが①ストラットバーのブラケット中に入るようにします。



13. ⑪フランジボルトを使用して、①ストラットバーと④⑤サスタワーブラケットを仮組みします。



14. 下記の順番に各ボルト類を本締めします。

【締付トルク】

1. ⑨袋ナット 39.2 N・m
 2. ④⑤サスタワーブラケット部 ⑪フランジボルト 21.5 N・m
 3. アップーマウント純正ナット 53.5 N・m
 4. ②③ストラットバーブラケット部 ⑪フランジボルト 21.5 N・m
 5. ②③ストラットバーブラケット部 純正アースボルト 9.5 N・m
15. カウルグリルブラケット、カウルグリルカバー、フェンダーエッチラバー、エンジンカバーを復元して作業完了です。



 知識

本製品取付け後、エンジンカバーの開閉は脱着のみとなります。フリップアップでの開閉はできません。